

リーディングDXスクール事業【実践事例】

喬木第二小学校

【取組内容①】「小規模校におけるクラウドを活用した異学年の学び」

- 異学年でクラウド上の学習データを参照しながら学び合える。
- 異学年での学びの環境を設定することで、上の学年はより経験をいかして下の学年に教えることができる。下の学年も上級生とは異なる視点を持っていることもあり、異学年で対等に議論ができる。
⇒学年を超えて刺激しあえる関係になり、自己肯定感の向上にもつながる。
- これまでは、異学年での学習において、課題を用意したり、それぞれの学習を参照するのに多大な手間がかかっていたが、クラウドで簡単に実現できるようになった

各自の取り組みや進捗を把握できる
「ふりかえり」シートを連学年で作成

5, 6年新ふりかえり ☆ @ ☺										
ファイル 編集 表示 挿入 表示形式 データ ツール 拡張機能 ヘルプ										
75% ¥ % .00 123 デフォ... - 10 + B										
K5										
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1		資料リンク①	資料リンク②	学習記録	めあて	評価	読のスキル① くひかえしの 表現から討 た	読のスキル② リズムから 作者の伝え たいメッセ ージを感し た。	読のスキル③ ら作者の伝 えたいメセ ージを考えた。	読のスキル④ 自分の感じた ことを考えた。
5年		うぐいす		私の学習記録!						
4		うぐいす								
5年			朗読メキ				★★★★	★★★★	★★★★	
6										
5年		資料①	資料②	私の学習記録!			★★★★	★★★★	★★★★	★★★★
6										
5年		うぐいす		私の学習記録						
6年		動物たちの 話しの な		学習記録!	友達のをしっかり見て わかることをしっ かり書て、自分のほ わたりやすい文を書く		★★★★	★★★★	★★★★	★★★★
7										
6年		うぐいす		私の学習記録						
8										

各児童が自分の取り組むファイルを作成し、自分でシートに貼り付け。全員が参照できる仕組みを構築。

※複式の授業として各学年の目標を据えつつ、同じ教材もしくは系統的につながる教材（教材は異なるが同じ「書くこと」について扱う教材など）を設定する。